

4. 2010 年度総会等報告

(1) 地域安全学会 2010 年度総会 報告

1. 日 時 : 2010 年 6 月 4 日 (金) 17:30~18:30
2. 場 所 : 岩手県大船渡市大船渡市民文化会館 (リアスホール)
3. 議 題
議長選出
 - 1) 2009 年度事業報告 報告
 - 2) 2009 年度決算 審議
 - 3) 2010 年度役員改選結果 審議
 - 4) 2010 年度事業計画 審議
 - 5) 2010 年度予算 審議
4. 論文賞・論文奨励賞授与

出席者 :

会員数 632 名 内 正会員 578 名 (正会員の 1/10 以上で成立)
出席 48 名, 委任状 270 名, 合計 318 名

1. 2009 年度事業報告

(1) 理事会の開催

2009 年度は理事会を下記のとおり開催した。

第 1 回・第 2 回 2009 年 6 月 5 日 (桑名市), 第 3 回 2009 年 7 月 25 日 (東京)
第 4 回 2009 年 9 月 12 日 (東京), 第 5 回 2009 年 11 月 6 日 (静岡)
第 6 回 2010 年 1 月 30 日 (東京), 第 7 回 2010 年 3 月 27 日 (東京)

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムをの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時 : 2009 年 6 月 5 日 (金) ~6 日 (土)

場所 : 三重県桑名市長島防災コミュニティセンター

一般論文発表 : 37 件

公開シンポジウム : 「伊勢湾台風 50 周年記念」公開シンポジウム

現地見学会 : 伊勢湾台風からの復興と 0m 地帯での防災対策 等

(3) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時 : 2009 年 11 月 6 日 (金) ~7 日 (土)

場所 : 静岡県地震防災センター

査読論文発表：42 件，一般論文ポスター発表：38 件

(4) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.24」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.11」を刊行し論文奨励賞（3 名）を選出した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.25」を刊行した。

(5) 電子ジャーナル論文集の刊行

電子ジャーナル査読システムを開始し、ホームページ上において 11 編の電子ジャーナル論文の閲覧を開始し「地域安全学会論文集No.12」を刊行した。

(6) ニュースレター発行とホームページ管理

2009 年度はニュースレターNo.67-No.70 の計 4 号を発行した。ニュースレターは記録性を重視し、ホームページとの機能分化に着手した。なおNo.68 以降のニュースレターから、従来の紙媒体から学会ホームページ上の掲載に移行した。

今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

(7) 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を開始した。個人情報保護を考慮しつつ、今後、効率的な会員サービスと会員管理を進める。

(8) 公益法人化に向けた検討

地域安全学会の将来構想を踏まえて、引き続き公益法人化に向けた検討を実施した。

(9) 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会の研究テーマを公募し、以下 3 件の研究活動を開始した。

- ・地域の地震体験談を活用した多世代防災活動(主査：森伸一郎)
- ・講座地域安全学(仮称)出版(主査：立木茂雄)
- ・突発事態を考慮した大型行事の総合安全対策に関する研究(主査：大西一嘉)

(10) 地域安全学会技術賞の選考

表彰委員会において第 3 回技術賞の選考を行い、計 2 件の応募に対し、「地震時の人体被災度計測用ダミーの開発（宮野道雄他 4 名）」を技術賞に決定した。

(11) 台湾集集地震 10 周年国際会議への参加

2009 年 9 月 17 日～21 日に台北市で開催された台湾集集地震 10 周年国際会議に、地域安全学会より中林一樹理事ほか 6 名の会員が参加し、研究発表と交流を行った。

(12) 防災学協会連合組織(仮称)への参加

2010 年 3 月 31 日に開催された日本学術会議主催公開シンポジウム「自然災害軽減のための学協会の役割」に参加した。今後、「防災学協会連合組織(仮称)」で多角的、多

面的な防災対策を実現するた学協会横断の学際的な取り組みを進めていく。

(13) シンポジウム等の共催・参加

2009年7月開催の安全工学シンポジウムを引続き共催した。

阪神・淡路大震災15周年フォーラム組織委員会に共催学協会として参加した。

第13回日本地震工学シンポジウムへの開催共催

(14) 役員選挙の実施

2010年度新役員選挙を実施し、理事13名、監事1名を選出した。

(15) 会員数および年会費納入(2010年3月末)

	会員数	会費納入状況		
		過年度	本年度	次年度
賛助会員	0	—	—	—
正会員	572	40(内退会者2)	468	—
学生会員	60	6	45	—

補足：会費の納入について

- ・2010度の会費振込み用紙は4月に発送済み。
- ・2月末時点で2年連続の未納者は理事会での決定により退会となる。
- ・正会員でない宛職理事および顧問は、特別会員として会費を請求しない。

2. 2009 年度決算

決算に関して、井野監事および翠川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

地域安全学会 2008 年度決算報告

収入の部				
科目	予算	決算	比較	備考
(1)一般事業				
会費収入	2,500,000	2,731,000	▲ 231,000	正会員 5000円 × 475名=2,375,000円、学生会員 2000円 × 46名=92,000円、過年度入金=264,000円(正会員5000円 × 50(人年)=250,000円、学生会員 2000円 × 7(人年)=14,000円)
小計	2,500,000	2,731,000	▲ 231,000	
(2)販売収入				
販売収入	200,000	88,000	112,000	梗概集 12、論文集 10、頒布
小計	200,000	88,000	▲ 119,000	
(3)総会及び春の研究発表会				
梗概集 登載料	350,000	295,000	55,000	梗概集 登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集 頒布	80,000	140,000	▲ 60,000	一冊4000円 × 35冊
懇親会費	250,000	395,520	▲ 145,520	
小計	680,000	830,520	▲ 150,520	
(4)秋の研究発表会				
梗概集 登載料	350,000	250,000	100,000	梗概集 登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集 頒布	240,000	180,000	60,000	一冊4000円 × 45冊
懇親会費	340,000	282,000	58,000	
小計	930,000	712,000	218,000	
(5)論文集の刊行				
論文査読料	800,000	820,000	▲ 20,000	82名分
論文登載料	1,500,000	1,515,000	▲ 15,000	梗概集 登録料(2万円+5000円/2ページ)
論文集 頒布	280,000	200,000	80,000	一冊4000円 × 50冊
小計	2,580,000	2,535,000	45,000	
(6)受託研究				
調査委託研究	1,400,000	1,204,728	195,272	大阪市西淀川区より委託
小計	1,400,000	1,204,728	195,272	
(7)その他				
受取利息	0	900		
前期繰越金	3,973,834	3,973,834	0	
小計	3,973,834	3,974,734	0	
合計	12,263,834	12,075,982	187,852	

支出の部

科目	予算	決算	比較	備考
(1)総務・広報				
1) 選挙管理委員会	48,000	0	48,000	
2) 理事会	580,000	370,925	209,075	会場費、理事交通費
3) 総会	30,000	0	30,000	
4) 広報委員会				
ニュースレター印刷・発送費	600,000	158,442	441,558	ニュースレター印刷、発送費
サーバー・ホームページ運営費	300,000	294,000	6,000	ホームページ改善費用
5) 事務局(経理、会員管理等)				
事務局委託費	600,000	600,000	0	財団法人 都市防災研究所
管理用ソフト導入費	150,000	140,740	9,260	
送料・振込手数料	150,000	112,775	37,225	切手、インターネットID料金、宅急便
事務消耗品費	150,000	59,440	90,560	
諸経費	150,000	227,304	▲ 77,304	封筒等印刷(111,783円)等
小計	2,758,000	1,963,626	794,374	
(2)学術・国際				
1) 学術委員会				
会場費	50,000	39,240	10,760	会場費等
学術委員旅費	400,000	280,580	119,420	委員交通費
電子投稿システム運営費	450,000	559,050	▲ 109,050	投稿サーバー保守等委託費
電子ジャーナル論文運用費	400,000	416,400	▲ 16,400	システム運営・改修等委託費
論文集印刷費(CD含む、300部)	1,400,000	1,085,700	314,300	21年度論文集印刷300部
通信費	42,000	20,640	21,360	切手代
業務支援作業報酬	100,000	76,500	23,500	3人分
2) 表彰委員会				
メダル作成費他	30,000	18,795	11,205	
3) 国際交流委員会				
運営費	100,000	0	100,000	
小計	2,972,000	2,496,905	475,095	
(3)研究発表会				
1) 総会・春季研究発表会				
梗概集印刷費	300,000	240,180	59,820	梗概集当日配布
事前打合せ旅費	50,000	0	50,000	
運営費	200,000	289,410	▲ 89,410	現地雑費等
懇親会費	250,000	367,200	▲ 117,200	当日懇親会費
2) 秋季研究発表会				
梗概集印刷費	350,000	315,000	35,000	梗概集当日配布
会場設営費(パネル設営等)	300,000	329,003	▲ 29,003	ポスター発表用パネル設営(213,150円)、現地雑費等
運営費	150,000	69,520	80,480	アルバイト料
懇親会費	340,000	436,128	▲ 96,128	当日懇親会費
3) 安全工学シンポジウム				
会議旅費	30,000	0	30,000	
共催金	20,000	0	20,000	
小計	1,990,000	2,046,441	▲ 56,441	
(4)研究運営				
1) 企画研究				
運営費	300,000	82,200	217,800	
2) 受託研究	1,400,000	1,034,970	365,030	委託
小計	1,700,000	1,117,170	582,830	
(5)その他				
予備費	2,926,834	4,451,840	▲ 1,525,006	
小計	2,926,834	4,451,840	▲ 1,525,006	
合計	12,346,834	12,075,982	270,852	

2010年 3月 31日

上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会
監事 井野 盛夫
監事 翠川 三郎



3. 2010 年度役員の改選結果

(1) 改選対象役員

1) 理事

糸井川 栄一	筑波大学 大学院システム情報工学研究科
大西 一嘉	神戸大学 大学院工学研究科
岡田 成幸	名古屋工業大学大学院 社会工学
佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院
塩野 計司	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科
高梨 成子	(株)防災&情報研究所
田中 聡	富士常葉大学 大学院環境防災研究科
中林 一樹	首都大学東京 大学院都市科学研究科
牧 紀男	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター
南 慎一	北海道立北方建築総合研究所
宮野 道雄	大阪市立大学 大学院生活科学研究科
村上 ひとみ	山口大学 大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学 大学院理工学研究科生産環境工学専攻

2) 監事

井野 盛夫	富士常葉大学 環境防災学部
-------	---------------

以上 13 名

(2) 選出役員

規定により以下の理事、監事を無競争で選出した。

1) 理事

糸井川 栄一	(筑波大学大学院システム情報工学研究科)
大西 一嘉	(神戸大学大学院工学研究科)
岡田 成幸	(名古屋工業大学大学院 社会工学)
柄谷 友香 [#]	(名城大学都市情報学部)
佐土原 聡	(横浜国立大学大学院 環境情報研究院)
高梨 成子	(株)防災&情報研究所)
田中 聡	(富士常葉大学大学院環境防災研究科)
中林 一樹	(首都大学東京大学院都市科学研究科)
牧 紀男	(京都大学防災研究所 巨大災害研究センター)
松岡 昌志 [#]	(産業技術総合研究所)
宮野 道雄	(大阪市立大学大学院生活科学研究科)
村上 ひとみ	(山口大学大学院理工学研究科)
森 伸一郎	(愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻)

2) 監事

井野 盛夫	(富士常葉大学環境防災学部)
-------	----------------

以上 14 名

([#]2010 年度新規選出)

2010 年度地域安全学会役員（案）

2010.6.1 現在

会 長	重川希志依*	富士常葉大学大学院環境防災研究科	理事会・総会・経理担当
副会長	宮野 道雄	大阪市立大学大学院生活科学研究科	会員担当・公益法人化担当
副会長	立木 茂雄*	同志社大学社会学部	学術(電子ジャーナル正), 国際交流委員会(副)
理 事	池田 浩敬*	富士常葉大学大学院環境防災研究科	学術委員会(正)
理 事	糸井川 栄一	筑波大学大学院システム情報工学研究科	研究運営委員会(正)
理 事	岩田 孝仁*	静岡県防災局	秋季研究発表会 (副・会場)
理 事	大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科	選挙管理委員会(正)
理 事	岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院	広報委員会
理 事	加藤 孝明*	東京大学大学院工学系研究科	学術(電子ジャーナル副), 企画研究小委員会(正), 安全工学シンポジウム担当
理 事	柄谷 友香#	名城大学都市情報学部	広報委員会(副)
理 事	清野 純史*	京都大学大学院工学研究科	広報委員会
理 事	佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院	国際交流委員会(正)
理 事	庄司 学*	筑波大学大学院システム情報工学研究科	学術委員会(副)
理 事	高梨 成子	榊防災&情報研究所	公益法人化担当
理 事	田中 聡	富士常葉大学大学院環境防災研究科	秋季研究発表会 (正), 防災学協会連合組織担当
理 事	中林 一樹	首都大学東京大学院都市科学研究科	研究運営委員会(副)
理 事	能島 暢呂*	岐阜大学工学部	表彰委員会(副)
理 事	牧 紀男	京都大学防災研究所	春季発表会実行委員会 (副), 防災学協会連合組織担当
理 事	松岡 昌志#	産業技術総合研究所	選挙管理委員会(副)
理 事	村尾 修*	筑波大学大学院システム情報工学研究科	表彰委員会(正)
理 事	村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科	企画研究小委員会#1(正)
理 事	目黒 公郎*	東京大学生産技術研究所	春季発表会実行委員会 (正)
理 事	森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科	広報委員会(正)
理 事	矢代 晴実*	東京海上日動リスクコンサルティング株式会社	日本地震工学シンポジウム担当
理 事	山崎 文雄*	千葉大学大学院工学研究科	広報委員会
理 事	大江 秀敏	東京消防庁防災部	宛職
理 事	横田 真二	総務省 消防庁 防災課	宛職, 2010 年度信任
理 事	高橋 忍	国土交通省都市・地域整備局都市・地域安全課	宛職, 2010 年度新任
理 事	古賀 俊行	国土交通省 河川局 防災課災害対策室	宛職
理 事	越智 繁雄	内閣府 参事官 (地震・火山対策担当)	宛職
監 事	井野 盛夫#	富士常葉大学環境防災学部	
監 事	翠川 三郎*	東京工業大学大学院総合理工学研究科	

*2010 年度末に改選予定の理事・監事, #2010 年度新規選出

顧問

伊藤 滋	小川 雄二郎	梶 秀樹	片山 恒雄	亀田 弘行
熊谷 良雄	高野 公男	長能 正武	濱田 政則	林 春男
村上 處直	村上 雅也	室崎 益輝	宮本 英治	吉井 博明

4. 2010 年度事業計画

(1) 理事会の開催

2010 年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第 1 回・第 2 回 2010 年 6 月 4 日 (金) 岩手県大船渡市
- 第 3 回 2010 年 7 月 24 日 (土) 東京
- 第 4 回 2010 年 9 月 12 日 (日) 東京
- 第 5 回 2010 年 11 月 5 日 (金) 静岡
- 第 6 回 2011 年 1 月 29 日 (土) 東京
- 第 7 回 2011 年 3 月 26 日 (土) 東京

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時：2010 年 6 月 4 日 (金) ～5 日 (土)

場所：岩手県大船渡市大船渡市民文化会館

(3) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時：2010 年 11 月 5 日 (金) ～6 日 (土)

場所：静岡県地震防災センター

(4) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.26」を刊行する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.13」を刊行し論文奨励賞を選出する。

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.27」を刊行する。

電子ジャーナルを発行する。研究発表会論文と合わせて論文賞を選出する。

(5) 広報活動の強化と会員への情報提供の充実

会員サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

(6) 企画研究小委員会研究活動

昨年度に引き続き、企画研究小委員会「地域の地震体験談を活用した多世代防災活動」、
「講座地域安全学(仮称)出版」, 「突発事態を考慮した大型行事の総合安全対策に関する研究」の研究活動を実施する。

(7) 技術賞の選出

表彰委員会において第 4 回地域安全学会技術賞の選考を行う。

(8) 受託研究の実施

都市防災美化協会から受託した「時代の潮流をふまえた防災まちづくりのあり方に関する研究」を実施する。

(9) 国際交流の推進

韓国防災学会、台湾の防災関連学会・防災研究者との交流を推進する。

(10) 役員選挙の実施

2011 年度新役員選挙の実施し、理事 12 名、監事 1 名を選出する。

6. 地域安全学会会則の変更

1) 第四条(事業)の7項目として「七 研究・技術開発およびその実践に関わる業績の表彰」を追加、これに伴い、従来の7項目は「八 その他本会の目的を達成するために必要な事業」と項目番号を修正する。

2) 第十三条(会長および副会長)の第4項を修正し、「4 会長および副会長の任期は、一年とする。会長は原則として二年を超えて連続して再任しないものとする。」とする。

3) 第十六条(事務局)を(事務局および委員会)とし、第3項として「3 委員会の長は理事の中から選任する。」を追加する。それに伴い、従来の第3項の項番号を第4項に修正する。

4) 第十八条(会計処理および報告)の第1項を修正し「理事会は予算を年度開始前に決定し、監事に提出するとともに、総会においてまたは文書によって会員の承認を受けるものとする。」とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 災害調査等事例研究の実施
- 二 公開シンポジウムの開催
- 三 研究成果等の刊行
- 四 研究者相互の交流及び内外の学会その他諸団体との連携と協力
- 五 講演会・講習会等の開催、その他の広報活動
- 六 研修旅行の実施
- 七 研究・技術開発およびその実践に関わる業績の表彰**
- ~~七八~~ その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会長および副会長)

第十三条 4 会長および副会長の任期は、一年と~~も~~する。会長は原則として三年以上二年を超えて連続して再任しないものとする。

(事務局および委員会)

第十六条 本会の事務処理のため、理事会は担当幹事を選任し、事務局を理事会のもとに設ける。

2 本会に研究企画、広報、その他の委員会を設けることができる。

3 委員会の長は理事の中から選任する。

~~3~~**4** 事務局および委員会に関する事項は、理事会において定める。

(会計処理および報告)

第十八条 理事会は予算を年度開始前に決定し、監事に提出するとともに、総会においてまたは文書によって会員に報告する承認を受けるものとする。